

1. 科目名 (単位数)	ヒューマンメディア (2 単位)	3. 科目番号	EDIT3334
2. 授業担当教員	館 秀典		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	人間は感覚器官を通じて外界から情報を入力し、知覚・認識をすることで外界の現象を捉え、それに対する出力を行っている。本講義では、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚と、身体の制御に関わる平衡感覚について、そのしくみや特性について言及し、その理解を通して人間の生体情報がどのようにメディア技術に活用されているのかを考える。また、ヒューマンインタフェースの観点から、人が使いやすいデザインやその評価についても言及する。		
8. 学習目標	人間の生体特性とそれに関わる事象や応用事例を理解し、それらがどのように日常生活や情報社会に活用されているのかを理解することが、本講義の目標である。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	学習テーマごとの課題に対して、調べたり考えたりして内容をまとめる。また、プレゼンテーションの準備あるいはレポートの作成を行う。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 資料を適宜配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 人間の生体特性とそれに関わる事象や応用事例を理解し、それらがどのように日常生活や情報社会に活用されているのかを理解できたか。 ○評定の方法 出席状況や授業への取り組み、課題提出、期末課題により総合的に評価する。 授業参加 30%、課題 40%、期末課題 30%		
12. 受講生へのメッセージ	我々が日常的に使っているパソコンやスマートフォン、携帯電話、テレビ、車、自動販売機など、多くのものは、それらを使う人間の特性を考慮して作られています。そうした観点で身の回りのものを見てみると新しい発見があるかもしれません。講義でもいくつかの例を紹介したいと思っています。		
13. オフィスアワー	初回授業で伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション：講義内容の確認、履修者の知識と技術の確認、質問・相談	事前学習	「人とメディア」という観点から、自分とメディアとの係わりについて考える。
		事後学習	興味を持ったことについて調べる。
第2回	人体の構造：人体寸法とパーセンタイル	事前学習	自分の身の回りのもので、人体の大きさを考慮して作られているものを探して考察をする。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第3回	人間の情報処理：感覚、知覚、認識	事前学習	感覚、知覚、認識の違いについて調べる。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第4回	視覚：眼光学系、視覚情報処理	事前学習	水晶体調節について調べ、物を明瞭に見る仕組みについて考える。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第5回	視覚：視野、眼球運動	事前学習	視野をキーワードとして、その特徴をまとめる。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第6回	視覚：空間周波数特性、時間周波数特性	事前学習	周波数について調べて理解する。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第7回	視覚：空間知覚、両眼立体視	事前学習	なぜ奥行きを感じるのかを考える。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第8回	視覚：図形知覚、錯視	事前学習	ミュラー・リヤー錯視について調べる。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第9回	視覚特性とディスプレイ技術	事前学習	ハイビジョン映像の解像度と臨場感について考察する。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第10回	聴覚：構造と機能	事前学習	可聴域について調べる。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第11回	聴覚特性とマルチメディアへの応用	事前学習	音を活用した製品について、聴覚特性の観点から考える。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第12回	嗅覚と味覚：構造と機能、マルチメディア応用	事前学習	味覚について調べる。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第13回	触覚と平衡感覚：構造と機能、マルチメディア応用	事前学習	日常生活において平衡感覚が関係している例や状況を考える。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第14回	ヒューマンインタフェース	事前学習	パソコンのキーボードの使いやすさについて、人体寸法の観点から考える。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。
第15回	生体信号による評価法	事前学習	人間工学やヒューマンインタフェースの分野において、評価するとはどういうことなのかを考える。
		事後学習	ディスカッションした内容をふまえ、自分の考えをまとめる。